

2023年7月10日

課題名：気管切開患者における人工呼吸器離脱後の気道浄化に関する実態調査

◆研究の目的と概要◆

当院では、呼吸状態が改善して人工呼吸器を外した気管切開患者を対象に、痰の粘性が高くなっていないかを調べています。人工呼吸器を外したあと、痰の粘性が高くなり気管カニューレが狭窄することがありました。本研究は、その実態を調査し、今後のよりよい呼吸器管理に繋げることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2022年4月から、2023年3月までの間に入院していた気管切開患者の内、呼吸ケアサポートチームが介入し、人工呼吸器を外すことができた方

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、BMI、喫煙歴、主疾患、併存疾患、人工呼吸器装着期間、三日間の一回換気量平均、加湿デバイス、日中または終日離脱後の初回呼吸数、気管カニューレ緊急交換の有無、気管カニューレ緊急交換時のカニューレ閉塞所見、カニューレサイズ、ネブライザー開始の有無と時期、ネブライザーで投与する薬液の種類（生理食塩液、ブロムヘキシシン塩酸塩）、ネブライザー噴霧時間・噴霧回数、去痰薬開始・追加の有無と時期、脱水の有無、酸素投与量、ADL（リハビリレベルによりベッド上、車いす移乗、歩行の3タイプに分類する）

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

3棟13階 研究責任者 岡崎智子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明